

古典学習においてつけるべき力

		育 成 す べ き 能 力	学 年					
			小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2・3	
国語への関心・意欲・態度	1	文語の詩を楽しんで学習しようとしている。	○					
	2	文語の和歌や短歌を楽しんで学習しようとしている。		○				
	3	古典の存在を意識している。			○			
	4	古文から、好きな言い回しやおもしろい部分を指摘できる。			○			
	5	古文の音読を楽しんで学習しようとしている。			○	○		
	6	語釈を頼りに、意味を理解しようとしている。			○	○		
	7	当時の状況をイメージしようとしている。				○	○	
	8	登場人物の心情や作者（筆者）の意図に迫ろうとしている。				○	○	
	9	登場人物の心情や作者（筆者）の意図に、共感（反対）できる。				○	○	
	10	古典から、人間の生き方や考え方を学ぼうとしている。					○	
読 む 能 力	内 容 把 握	11	文語の詩を聞きながら読んで、情景や心情が想像できる。	○				
		12	文語の和歌や俳句を聞きながら読んで、情景や心情が想像できる。		○			
		13	古文の音読を聞きながら読んで、大まかな内容を把握している。			○		
		14	古文を自分で読んで、大まかな内容を把握している。			○	○	
		15	叙述に即して、内容を把握している。				○	○
		16	文章の構成を意識しながら、全体の内容を把握している。					○
	叙 述	17	主語を意識しながら読んでいる。		○	○	○	
		18	助詞を補いながら、読んでいる。			○	○	
		19	注釈を頼りに、内容を理解している。			○	○	○
		20	古文独特の言い回しを理解している。				○	○
21		古文の表現の効果について理解している。				○	○	
22		和歌などの修辞の効果を理解している。					○	
も の の 見 方 ・ 考 え 方	23	心情や情景を読み取っている。		○	○	○	○	
	24	自分の考えと比較しながら読んでいる。				○	○	
	25	作者（筆者）の意図や主張を読み取っている。				○	○	
	26	当時の社会や作者（筆者）のものの見方・考え方について読み取っている。					○	
発 展	27	資料や参考文献を利用している。			○	○	○	
	28	他の古典への読書の広がりが見られる。			○	○	○	
言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能	仮 名 遣 い	29	文語と口語との違いがわかる。	○	○			
		30	仮名遣いの違いがわかる。	○	○	○		
		31	歴史的仮名遣いが読める。			○	○	○
		32	歴史的仮名遣いの読み方の法則に気づいている。				○	○
	音 読 ・ 朗 読	33	文語の語感に関心をもつ。	○	○			
		34	文語の調子に親しむ。			○		
		35	古文の読みに慣れ、音読できる。				○	○
	表 現	36	古文をリズムカルに音読できる。				○	○
		37	和歌などの修辞を理解している。				○	○
38		古文中の敬語を理解している。					○	
		39	古文独特の修辞を理解している。				○	